

平成 20 年度

# 福島県立病院年報

福島県病院局

## ま え が き

ここに平成20年度福島県立病院年報を刊行します。

県立病院事業は、矢吹病院、喜多方病院、会津総合病院、宮下病院、南会津病院及び大野病院の6病院を運営し、地域の一般医療のほか、へき地医療や精神・結核等の特殊医療を担い、県民医療の確保に努めてきております。

これまで、県立病院においては、「経営改善アクションプログラム」(平成15年度～18年度)を策定し、県民への良質な医療の提供と経営の改善に取り組むとともに、平成16年4月には、経営責任を明確にし、機動的・弾力的な病院経営を可能とするため、地方公営企業法全部適用へ移行し、経営基盤の確立に向けて全力で取り組んできました。

さらに、平成17年7月には、「県立病院改革実行方策」を策定し、(仮称)会津総合病院の整備を進めるとともに、平成19年3月末には3病院・1診療所の廃止・移譲を行い、6病院体制とし、新たに策定した「福島県病院事業経営改善計画」(平成19年度～21年度)に基づき、医療機能の充実強化や経営改善に取り組んできたところです。

しかしながら、県立病院事業は、少子高齢化などに伴う医療ニーズの多様化、国の医療費抑制政策、医師不足の深刻化、低迷する経済状況など、大きな環境の変化により一層厳しさを増しており、平成9年度以降、入院・外来ともに患者数が前年度を下回るとともに、平成20年度末の累積欠損金は約224億4千万円に膨らみ、極めて厳しい経営状況となっていることから、「公立病院改革ガイドライン」の趣旨を踏まえ、今後とも地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくには、県立病院事業の抜本的見直しを行うことが必要不可欠であるため、現在の経営改善計画を修正、発展させ、大野病院と福島県厚生連双葉厚生病院との統合に向けての検討等を盛り込んだ「福島県県立病院改革プラン」を平成21年5月に策定を行ったところです。

今後も、「親切・信頼・進歩」を基本理念に、時代の変化に対応した県立病院の役割や機能を果たしながら県民に期待され信頼される県立病院として良質な医療の提供と健全な経営の実現を目指していきたいと考えております。

この年報は、県立病院の業務内容と経営の状況を統計面から捉えたものであり、広く県民の皆様にご理解いただくとともに、病院経営資料として御活用いただき、県立病院発展の一助となれば幸いに存じます。

平成22年2月

福島県病院事業管理者 高地 英夫

## 凡 例

- 1 この年報で県立病院とは、福島県立病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第77号）により設置された病院をいう。
- 2 この年報の年度は、会計年度である。
- 3 病床数とは、医療法の規定に基づき、知事の使用許可を受けた病床数である。延病床数とは、年度内における毎日の病床数を合計した数である。
- 4 入院患者延数とは、年度内における毎日の在院患者を合計した数である。ただし、人間ドックは含めない。
- 5 外来患者延数とは、年度内における毎日の外来患者を合計した数である。ただし、健康診断は含めない。
- 6 1日平均患者数とは、入院患者については年度内の入院患者延数を暦日（平成20年度は365日）で除した数、外来患者については、年度内の外来患者延数を年間の実外来診療日数で除した数である。

実外来診療日数とは、土・日曜日及びその他休日を除き実際に外来診療を行った日数で平成20年度は243日である。

- 7 入院、外来患者の病類区分は、一般疾病、結核、感染症及び精神病である。
- 8 病床利用率、平均在院日数等は次の算出方法により計算した。

$$\text{病 床 利 用 率} = \frac{\text{入 院 延 患 者 数}}{\text{延 病 床 数}} \times 100$$

$$\text{平 均 通 院 日 数} = \frac{\text{外 来 患 者 延 数}}{\text{外 来 新 患 者 数}}$$

$$\text{1人1日当たり診療収入} = \frac{\text{診 療 稼 働 額}}{\text{延 患 者 数}}$$

$$\text{平 均 在 院 日 数} = \frac{\text{入 院 患 者 延 数}}{1/2(\text{新 入 院 患 者 数} + \text{退 院 患 者 数})}$$

$$\text{病 床 回 転 数} = \frac{365}{\text{平 均 在 院 日 数}} \quad \text{又 是} \quad \frac{1/2(\text{新 入 院 患 者 数} + \text{退 院 患 者 数})}{\text{病 床 数} \times \text{病 床 利 用 率}}$$

9 診療科別患者数は、病院において標榜している診療科で診療を受けた患者の数である。

10 喫食数とは、患者食、職員食等を行った延数である。

11 数値は、各単位止まりのものは少数第1位、1位止まりのものは少数第2位、2位止まりのものは少数第3位で四捨五入したものである。

表章記号は次のとおりである。

計数なし又はあり得ない場合	-
計数不明の場合	...
数値が微少の場合	0.0

12 以上のほか注記を必要と思われるのは、それぞれの箇所に記載した。

# 目 次

## 第1章 県立病院の概況

1 県立病院の所在地	7
2 県立病院事業概況	8
3 県立病院の機構	9
4 県立病院現況	10
5 施設の概要	11
6 県立病院の沿革	12
7 病院別職種別現員表	16

## 第2章 統計解説

1 患者の状況	18
(1) 入院患者数	18
(2) 診療科別入院患者数	18
(3) 病床利用率	20
(4) 病類別入院患者数及び平均在院日数	30
(5) 外来患者数	32
(6) 病院別外来患者数	33
(7) 診療科別外来患者数	34
(8) 外来患者診療科別通院日数	35
(9) 月別患者数	36
(10) 病類別外来患者数	36
2 診療状況	37
(1) 診療収益	37
(2) 診療科別稼動額	38
(3) 診療行為別稼動額及び診療行為別1人1日当たり診療収入	39
(4) 診療科別患者1人1日当たり診療収入	41
3 X線使用状況	42
4 検査状況	43
5 手術状況	44

6 調 剤 業 務 状 況	45
7 食 事 状 況	46
8 人 工 腎 臓 装 置 利 用 状 況	47
9 剖 検 率 状 況	47
10 経 理 の 状 況	48
(1) 損益計算書	48
(2) 貸借対照表	49
(3) 経営状況の推移	51
(4) 未収金及び不納欠損処分状況	54
(5) 企業債の状況	56
11 職 員 の 状 況	57
(1) 年齢構成表	57
(2) 職員 1 人当たりの平均月額給与	58
12 主要医療器械設置状況	59

### 第 3 章 診 療 統 計

第 1 表 月別・診療科別・入院外来患者数	61
第 2 表 病類別患者延数・病床利用率・回転数・平均在院日数	66
第 3 表 病床 1 0 0 床当たり職員数	68
第 4 表 病類別入院・退院患者数	69
第 5 表 診療科別外来新患者数	70
第 6 表 外来患者平均通院日数	70
第 7 表 職員 1 人 1 日当たり取扱患者数	71
第 8 表 診療科別診療行為別稼働実績（入院）	72
第 9 表 診療科別診療行為別稼働実績（外来）	74
第 10 表 月別診療稼働額（入院）	77
第 11 表 月別診療稼働額（外来）	77
第 12 表 診療科別患者 1 人 1 日当たり診療収入	78
第 13 表 X 線使用状況	79
第 14 表 X 線フィルム使用状況	80
第 15 表 検査状況	81

第16表	手術状況	.....	82
第17表	分娩件数	.....	84
第18表	調剤状況	.....	85
第19表	検査・X線・調剤の状況	.....	86
第20表	薬品購入消費状況	.....	87
第21表	食事状況	.....	90
第22表	患者及び職員1人1日当たり収益	.....	91
<b>第4章 経理統計</b>			
第1表	病院別損益計算書	.....	93
第2表	収益及び要素別費用	.....	94
第3表	費用構成表	.....	96
第4表	医業収益(100)対要素別医業費用	.....	97
第5表	年度末病院別貸借対照表及び財務分析	.....	98
第6表	前年度比較損益計算書	.....	99
第7表	前年度比較貸借対照表	.....	100
第8表	現年度医業未収金収納状況	.....	101
第9表	過年度医業未収金収納状況	.....	102
第10表	不納欠損処理一覧表	.....	103
第11表	企業債状況	.....	104
第12表	一般会計繰入金の状況	.....	106
第13表	財務分析	.....	107